

平成 20 年 10 月 13 日

国土交通道路局長 様

熊 本 県

玉 東 町 長 前 田 移 津 行



今後の道路行政についての意見・提案について

平成20年9月19日付け国道企第37号で依頼がありました標記の件について、別紙により提出します。

今後の道路行政についての意見・提案

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案

既存する高速道路や高規格道路の高利用対策

地方の高速道路や高規格道路の利用度合い現状は低く、幹となる高速道路を軸に各地方市街や地方幹線道路への連携が必要と考えます。

IC だけの乗降進入でなく、もよりの PA や SA を利用した乗降進入や、それらへのアクセス道路として地方道路や地方市街地に専用道路を整備することにより、高速道路の利用増を図る。また、利用しやすい料金体系にすることを提案します。

今後の道路行政についての意見・提案

②－１ 地域の現状と抱える課題

○ 現状

玉東町は県庁所在地の熊本市と玉名市とに界する小さな町であります。

熊本市街地と県北地区のアクセスとして国道２０８号ほか県道やＪＲが町の中央部を横断しており、流通の要となっております。しかし、道路現状は渋滞や人や障害者の利用する道路としては厳しい状況であります。また、大雨や台風時には再々冠水し通行が出来ず経済の流通に支障を来たしております。

国道３号植木バイパスや国道２０８号玉名バイパスなど近郊市街地の国道整備が行われており、県北部における渋滞対策として大いに期待されるところであります。しかしながら、両バイパス間の現道対策が遅れており懸念されるところです。

町道・県道においても道路の老朽化や無歩道が多く地域生活と密着した道路整備が必要である。

○ 課題

道路整備に係る財源の拡充

災害に強い道路整備と対策

ウォーカー・自転車にやさしい道づくり

高速インターへのアクセス整備と

渋滞対策としての高速料金の低額化

老朽化道路への強化整備

踏み切りの立体化

交差点改良（稲佐地区）

今後の道路行政についての意見・提案

②－２ 地域の目指すべき将来像

高速道路の IC と幹線国道や各国道バイパス間の良好な道路網形成と整備、SA・PA を利用したアクセス整備と高速料金の低額化（例 通勤時間帯ワンコイン料金）など、身近な高速道路にすることにより利用増を図る。

災害時における冠水する道路の対策として、河川改修と連携した整備を行い災害非常時の経済流通の確保や地域住民の避難通路として地域防災に寄与する。

近年 健康ブームやエコ対策などでウーカー・自転車の通行が増えており、都市部の歩車道と地方部の歩車道とのありかた等を検討し、車と人との安心安全な道づくりが必要。